

特集号

緑ネット通信

No.56

緑のネットワーク・まつど

代表：川上将夫

年会費：1000円

口座番号：00170-9-696174

連絡先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すためには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動のテーマは、みどり特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携しその輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

第6回 オープンフォレスト in 松戸



子どもたちの歓声と
森の風を感じる
癒やしのひととき

(小浜屋敷の森)



(八ヶ崎の森)



(困いやまの森)



(三吉の森)



(ホダシの森)

6年目を迎えた今回も、各森のボランティア仲間と知恵と力を合わせ、地元企業や事業所の協賛、地権者さんの協力と行政の頼もしいバックアップをいただき、実施されました。期間中に森や会場を訪れた方は 延べ1890人、受け入れにかかわったボランティアは 延べ360人。市内に残された貴重な樹林地…みどりの大切さ、素晴らしさを、肌で感じてもらえたことでしょう。

…準備もみんなです…

実行委員会は昨年9月から動き始めました。今年も柳井実行委員長(千葉大学)と山下事務局長のリードで、各森から担当が出て、行動部会、広報部会、資金部会に分かれ、力を合わせて頑張りました。



…みどりと花のフェスティバル…

4月29日の「緑と花のフェスティバル」では、オープンフォレストの宣伝をかねて、「みどりのスタンプラリー」に協力しました。ハンモックで木の下に揺られる気持ち良い体験をしてもらったり、野外顕微鏡で小さな花を見て虫の目体験をもらったり…公園にやってきた大勢の市民に自然と親しむ体験をしていただけました。



ハンモックに揺られて・・・



顕微鏡をのぞいて、虫の気持ちに

…それぞれの森で それぞれの準備…

ご案内のためのこまごました準備、チラシのポスティングなど (ホダシの森)

森のステキな自然をご紹介する掲示板の設置 (しんやまの森)

花の咲く森で、散策路の整備や丸太ベンチの設置 (紙敷みなみの森)



手作りハンモックの設置。キビタキの音が聞こえる事もありました (三吉の森)

そんな合間にも、小さなお客様が森に訪ねて来たり… (三吉の森)

安全に散策して頂けるよう、森のチェックや気配りも! (三吉の森)



森の文化祭

5月12日～14日



伐採された大きなケヤキの一部はボランティアの手で太鼓になりました。



松戸の里やま保全の様子を伝えるパネル展示、森の恵みを生かした手作り作品の展示、遊べるおもちゃ、草笛音楽隊、竹ブンブン作り…5月12日～14日、森の公開に先立って、21世紀の森と広場のパークセンターで、森の文化祭が行われました。



私たちが案内します（縄文の森）

森のギャラリー（縄文の森）



昔の森を知っている方との交流（ハケ崎の森）

森の公開

5月20日～28日

感じてほしい 森の大切さを



森の自然の掲示（紙敷みなみの森）



野ウサギがずっと生きていけるよう見守ります（野うさぎの森）



手作り紙芝居（ホダシの森）



森のヨガ（秋山の森）



7月には山百合が咲きます（芋の作の森）

竹ぽっくり (小浜屋敷の森)



年長組さん、森の探検 (しんやまの森)



恒例の田植え体験 (根木内歴史公園)

楽しい体験



丸太渡り (紙敷石みやの森)



タンポポ笛 (ツアー)



虫の観察 (三吉の森)



木登り (関さんの森)



ロープで木登り (囲いやまの森)



森のたんけん (紙敷みなみの森)



ロープスライダー (秋山の森)

森めぐりツアー 今年「まつど健康マイレージ5マイル対象」で行われました

- 5月21日 東松戸駅→春日神社→旧斎藤邸→ゆいの花公園→野うさぎの森→紙敷みなみの森→紙敷石みやの森→わんぱくの森(市川市)
- 5月23日 新松戸駅→幸谷観音→関さんの森→溜ノ上の森
- 5月28日 常盤平駅→囲いやまの森→金ヶ作自然公園→三吉の森(5ページに関連記事あり)



旧斎藤邸



ゆいの花公園



野うさぎの森



紙敷みなみの森



紙敷石みやの森



わんぱくの森



関さんの森



溜ノ上の森

オープンフォレスト プレ企画（再発見ツアー41）

市境に残る2つの森の春を訪ね、 みどりの再発見 藤田 隆

サイカチの森



4月23日早くから集まり始めた参加者は、定刻には40名を超えました。東松戸駅から武蔵野線に沿って西側を歩くと、線路越しにサイカチの森が臨まれ、松戸

市に残された畑が広がる緑の風景が広がっていました。梨街道を横切り、農家の屋敷林にそびえるケヤキの大木を左手に見ながら小浜屋敷の森へと進みました。

森の広場で流尾さんの説明を聴きながら、目を足元に

やるとウラシマソウ、ホチャクソウ、キンランが開花していました。広場の南側はジロボウエンゴサクの群落でした。目の上にはイヌザクラが花を添え、森の中はハナイカダ、ウワミズザクラ、ノシラン、



小浜屋敷の森の花畑

ヒトリシズカ、タチツボスマレが開花し、花盛りでした。「そんな森もゴミをかき分けることから始まった」と言う苦労譚に、吸い込まれるように参加者が頷く姿が印象的でした。

次に向かった大野の森は、小浜屋敷の森と谷を挟んで向かい側の斜面林の一部、ヒノキ、スギなどの針葉樹と、イヌシデ、コナラなどの広葉樹が混交する森でした。

市川市との協定がまとまり、平成22年から2年かけて樹木調査した後、地図上に落とし込み作業と整備を始めたそうです。70種類の樹木が生育し、その4分の1をイヌシデが占めていることが明らかになりました。これから若い世代の加入が不可欠と活動の課題が浮き彫りになった現状もお話ししてくれました。

大野の森で昼食・休憩



昼食後のオープンツアーを瀬谷さんが案内してくれました。茅葺屋根、コブハクチョウ、万葉植物園を見学し、市川大野駅で解散しました。

オープンフォレスト森めぐりツアー（再発見ツアー42）

森仲間が守る金ケ作の新緑を楽しみ、 みどりの再発見 藤田 隆

5月28日、参加者5月28日、参加者18名と常盤平駅を出発…熊野神社の奥に緑濃い囲いやまの森が見えてきました。樹々の間からウグイス、メジロ、シジュウカラ、コゲラの声が耳に届き、朝から快晴の天気も手伝ってさわやかな気分。

囲いやまの森の老岐代表は、「仲間と協力し、気持ちをひとつにし、木を切ることに集中する。この喜びは他では味わえない」と森仲間との連帯感を実感した経験を話してくれました。

スギ、広葉樹、草地など約2haのうち半分は広場、作業スペースとして活用し、残りは自然のまま残しているとのことでした。



馬場さんから樹木の説明を聞く
(囲いやまの森)

林内にはスギ、クヌギ、コナラ、シラカシ、イヌシデ、エゴノキ、コブシ、イヌザクラ、ウワミズザクラと目に入るだけでも両手に余るほどの樹種が数えられました。常盤平駅から数分の住宅街に囲まれているロケーションで、三吉の森、金ケ作自然公園などまとまった緑があるため、タヌキなどの生息も確認できているようでした。

次に徒歩で5分ほどの三吉の森へ向かいました。シラカシ、ケヤキ、ムクノキの巨木がシンボルのように立ち並び、間をモウソウチクが地下茎を伸ばし、モミの実生が枝を伸ばしています。竹林が強い部分と残りはエノキ、エゴノキの高木とタブノキ、シロダモなど広葉樹の森となっていました。薄暗い森にあつてキンラン、ギンラン、サイハイラン、エビネランが開花し、ガマズミ、スイカズラが甘い香りを漂わせていました。所有者の小嶋さんから、昔はお茶会用の炭の生産が主流だったと伺いました。



所有者さんから森の歴史を聞く(三吉の森)

最後に参加者のお話を聞くと、三吉の森に来る念願がかなった。覚えられないほど沢山ある木の種類に驚かれた様子でした。また、松戸に住んで50年、ほかの森も見たい、と里山への関心が深まった感想を語ってくれた方もいました。

関東・水と緑のネットワーク拠点に 選定されました！！

藤田 隆

3月20日、第8回「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」【主催：(一社)関東地域づくり協会、(公財)日本生態系協会】の選定証授与式が行われました。日本生態系協会は「関東・水と緑のネットワーク拠点」を選定することに



関東地域づくり協会奥野晴彦理事長から選定証を受ける緑ネット川上代表

により、生物多様性の保全・再生に資する取り組みの支援、地域のあり方、環境学習の場づくりなどを進めています。

選定は活動拠点を持つ団体が中心で、当会のような中間組織の選定は初めてだそうです。奥日光、横浜の団体のほか松戸市の根っ子の会、柏市の下田の森も今回選定されました。この日、式典に続いて行われるエクスカッションを当会が担当し、戸定邸庭園を見学しました。

戸定邸庭園は日本庭園史における学術的価値が評価され、平成27年に国の名勝に指定されました。現在、徳川昭武が築造した当時の姿に復元計画が進行中で、戸定歴史館の島村氏に庭園の案内、庭園復元の様子を解説していただきました。

戸定邸庭園から千葉大学園芸学部を観察、常磐線にかかる跨線橋から浅間神社、矢切の斜面林を眺めました。市川市から流山市へと続く斜面林の一部が千葉大学園



戸定邸庭園復元工事を説明する島村さん

芸学部、戸定邸のみどりを形成している様子を見ることができました。

「はてなの心を忘れずに！」

三島次郎氏 講演

庭園巡りの後は、「はてなの心を忘れずに！」をテーマにした三島次郎氏の講演です。三島氏は自然大好きな私たちのためにヒントをたくさん授けてくれました。

アリューシャン列島でトナカイが長生きできるのは、トナカイ一種を放した場合か、トナカイとオオカミを同時に放した場合か、と問いかけました。「敵もまた味方」、「全体の関係の中でバランスが取れる」のではないかと話を進めました。

鳥の巣箱、カワセミの保護、どぶの中の自然、砂漠の豊かな自然の例から、「〇の(評価を得られた)生き物だけを大切にしても自然を大切にしたことにはならない」、「両者が複雑に関係しあって一つのシステムが作られている」、「動植物の保護は自然保護だろうか」、「生き物の評価と人の評価は違う」と疑問を投げかけられました。

「見えない自然の働き」では、一本の木の伐採で「木から受けられる恩恵は何十年かかっても取り戻すことはできない」と、疑問を持つことの大切さを強調し、自然が大好きな皆さんであってほしいと結びました。



講演する三島次郎氏

総会の報告と新年度のご挨拶

代表 川上 将夫

皆さんこんにちは。5月14日の総会で今年度の役員が決まり、全員が再任、私も引き続き代表をつとめさせていただくことになりました。

緑のネットワーク・まつどは、この5月に行われたイベント「オープンフォレスト in 松戸」(約2千名の方々が森や文化祭を訪問)に参加しました。また「松戸のみどり再発見ツアー」を年4回開催しており、今秋に向けては新企画を準備中です。わずかに残された大切な樹林を後世に残すため、私たちはこれからも息の長い活動を続けてまいります。

★松戸のみどり再発見ツアー-43 (観察学習会 58)

「名勝に指定された戸定邸庭園と、 千葉大園芸学部の洋風庭園をめぐる」

10月8日(日) 9:30~14:00 (小雨実施)
集合 JR松戸駅 西口デッキ 9:30集合(現地解散)
問い合わせ 090-2935-9444 (高橋)

参加費300円(会員は100円)
持ち物 弁当、飲み物、雨具
その他 歩きやすい服装でどうぞ